

中部経済連合会からの本日のご説明内容

○中部圏の課題と将来の方向性(社会・産業)

～「中部圏の将来ビジョン」(2019.3公表)～

○中部圏の課題と将来の方向性(防災)

～「南海トラフ地震等が中部経済界に与える影響を最小化するために」
(2019.5公表)～

○中部圏の課題と将来の方向性を踏まえた 道路整備

○道路整備の必要性と効果

～「中部圏交通ネットワークビジョン」(2016.4公表)～

～「中部圏の交通ネットワークのさらなる充実に向けて」(2018.6公表)～

○料金制度について

○料金水準と整備負担について

中部圏の課題と将来の方向性(社会・産業)

中部圏の将来ビジョン
(2019.3公表)

2050年頃の将来を見据えた社会構造や産業構造の変化、中部圏の課題を踏まえ、中部圏としては、強みであるものづくり基盤の活用とデジタル技術革新への対応で、生産性の飛躍的な向上と付加価値の高い産業への進化・シフトが必要

社会構造の変化

- 人口・生産年齢人口減少・高齢化
- インフラ老朽化
- 環境悪化
- 災害リスク
- ボーダーレス化 等

産業構造の変化

- 第1次産業:従事者の大幅減少・高齢化
- 第2次産業:新たな技術の活用へのシフト、新素材の開発
- 第3次産業:環境対応、IoT・AI等のデジタル技術の革新等

中部圏の課題

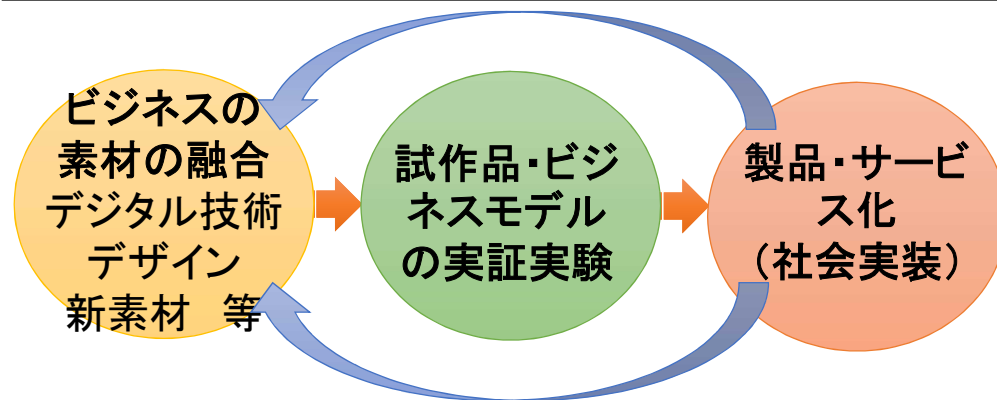
- 強み:ものづくりの集積、暮らしやすい環境、豊富な観光資源等
- 弱み:情報産業の弱さ、デザイン思考の弱さ等
- 機会:デジタル技術の革新、グローバルイノベーション等
- 脅威:自動車産業の縮小懸念等
- 中部圏のGDP81兆円は成り行きでは2050年に56兆円

中部圏に必要なこと

現状維持からの脱却、強みであるものづくり基盤の活用とデジタル技術革新への対応で、生産性の飛躍的な向上と付加価値の高い産業への進化・シフト

ものづくり基盤とデジタル技術革新の融合で世界をリードする 新世代の成長産業を創出する地域

アイデアから製品化までを超高速化し、
一気通貫で実現し続ける地域



圧倒的なスピード化で新世代の成長産業を創出し、
高い生産性と付加価値を生み出す
イノベーション・エコシステムを構築

新世代の成長産業を創出する地域 となるために必要な機能

<ビジネスの素材の融合の観点>

- ①中部圏内外からイノベーション人材が集い、対流・交流の拠点となるイノベーション拠点の整備
- ②研究機関や大学等の教育機関の高度化
- ③IoT・AI・ビッグデータ等をはじめとするデジタル技術分野の産業の集積

<実証実験の観点>

- ④都市空間・生活空間での実証実験を可能とする環境「アーバンチャレンジ特区」の創設

<圧倒的なスピード化の観点>

- ⑤5G・Beyond5G等の大容量高速通信網の整備、データ・通信網の安全・信頼性確保
- ⑥イノベーション拠点と生産の現場との速達性を高める交通ネットワークの整備
- ⑦新世代の成長産業の創出の意思決定スピード化に相応しい首都機能の移転
(経済産業省製造産業局等)



INNOVATOR'S GARAGE

2019.07.08 Mon.

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ OPEN!

ナゴヤ イノベーターズ ガレージが、名古屋栄のナディアパークに、イノベーションを誘発し、世界を変える発想をもたらすイノベーション拠点として始動します！

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE フロアガイド (ナディアパーク4階)

①心地良い空間で、コミュニケーションできる多目的エリア

1 Collaboration Area-East



2 Collaboration Area-West



②Collaboration Area と Tiered Seatingエリアを利用して150名規模のイベントが開催できるエリア

3 Tiered Seating



4 Presentation Area



③セミナーやプレゼンテーションなどで大人数が座れ、必要に応じてワークやミーティングなど多用途に利用可能

④50名規模のイベントが開催できるエリア
大階段横のガラス貼りのスペースは、2部屋連結してミーティングが可能

5 Reception Area



6 Meeting Area



7 Focus Area



8 Open Kitchen



⑤受付、待ち合わせエリア

⑥ミーティングやワークスペースなど多用途に利用可能

⑦音と視線を柔らかく遮り、集中力を維持させる集中ブースが利用可能

⑧コミュニケーションやリフレッシュできるカフェスペース



至名古屋	錦通	ドンキホーテ	栄駅	地下鉄東山線	三越	地下鉄名城線
	広小路通				LACHIC	
		サカエチカ 7番出口			松坂屋北館	
	プリンセスガーデンホテル				松坂屋本館	
	nadya park	Apple Store			松坂屋南館	
	矢場公園				矢場町駅	
					久屋大通	
					PARCO	
					大津通	





**INNOVATOR'S
GARAGE**

2019.07.08 Mon.

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ OPEN!

ナゴヤ イノベーターズ ガレージで実施予定のプログラム

対象	ガレージ プログラム (抜粋)	内容	スペック
会員向け	ビヨンドザボーダー	・「イノベーションドライバー」を育成し、ネットワークを形成	開催中 2-3クール/年
	ドメインプロジェクト	・異分野融合での事業開発や共同研究プロジェクトの組成 ・中部圏の経済発展に寄与する新規事業や新産業の社会実装	開催中 1-3回/週
	Next30 neo	・「次の30年を担う産学の若手による異分野・異業種交流会」、参加者の相互理解を深め、人的ネットワーク作りや、新たな発見の機会を提供	開催中 1回/隔月
	アカデミックナイト	・大学教員の研究資金と出口パートナー(大・中堅企業等)のマッチング、最先端研究の紹介	9月スタート 2回/月
	ベンチャーミーツ	・さまざまな領域の起業家、起業家を目指す人たちと企業などとの交流会を実施	
	ノマドワーク	・コワーキングスペース、企業の出島(Dejima)としての機能の提供	7月スタート
	コーディネーター相談	・会員及び大学発スタートアップからの新規事業開発相談	
一般向け	フューチャーコンパス	・世界で活躍する各界のプロを招き継続的に講演会を開催 (情報提供) ・期待感や危機感を醸成することで、イノベーションの認識や気づきにつなぐ	開催中 10回/年
	社会人の学びなおし	・社会人の学び直しの機会(若者から年配者までの人生100年時代に向けての学びなおし ①人文自然科学系 ②デジタル実践)	11月スタート 2クール/年
	キッズ&ジュニアプログラム	・高校生向けの起業、IoT、伝統工芸やデザインプログラム ・小中学生向けIoT・起業体験などの各種プログラム	8月スタート 随時開催
	NAGOYA MIRAI INNOVATORS	・若手人材の育成を目的とした「イノベーター育成・ビジネス創出プログラム」	7月スタート
	専門家相談	・起業までに必要なさまざま相談を専門家がアドバイス、先輩起業家との交流	1-2回/週

<https://garage-nagoya.or.jp/>

中部圏が目指す方向性 その2

中部圏の将来ビジョン
(2019.3公表)

人・もの・情報の対流・交流を創出し、
世界から人を惹き付け、投資を呼び込む地域

産業・地域の魅力を高めるために必要な環境

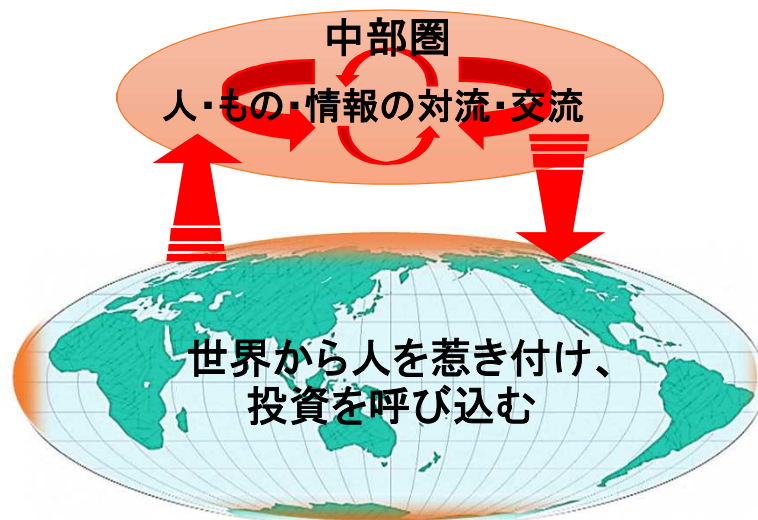
＜産業の魅力を高め、人を惹き付け投資を呼び込む観点＞

- ①イノベーション拠点を核とした研究開発やビジネスの分厚い集積
- ②海外一流大学のサテライトの誘致等、世界的研究機関とのネットワーク化
- ③中部圏の産業を担う人材を育成・確保する仕組みの強化
- ④新産業の創出を促すインキュベーション施設・ファンドの設立・充実
- ⑤環境負荷が圧倒的に低く、世界から注目されるスマート・エリア化
- ⑥海外との往来の利便性を飛躍的に向上させる中部国際空港の二本目滑走路の整備
- ⑦国際会議、グローバルMICE等の活発な開催による対流・交流の創出
- ⑧ダイバーシティ対応・意思決定のスピード化・生産性を高める働き方等の企業風土の醸成

＜地域の魅力を高め、人を惹き付け投資を呼び込む観点＞

- ①オープン化、デザイン思考・芸術・文化の充実等による賑わいの創出
- ②歩きやすさや回遊性を高める美しい景観の整備、まちの連続性の確保
- ③緑化推進、水辺や自然を活かした安らぎ空間の形成
- ④投資家やVIP等、富裕層を呼び込む5つ星クラスのホテルの立地
- ⑤多様性を受け入れる環境の整備
- ⑥安全・安心で快適な生活空間の形成

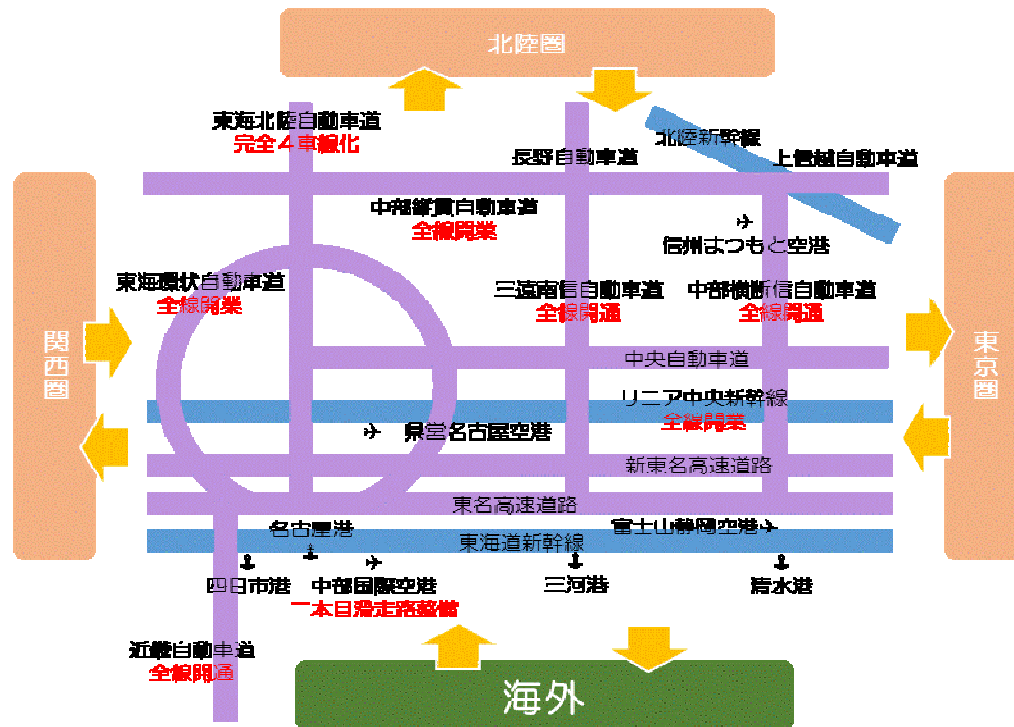
中部圏の産業と地域の魅力向上



中部圏が目指す方向性 その3

中部圏の将来ビジョン
(2019.3公表)

広域での連携・つながりの強化で持続的に発展する地域



リニア中央新幹線の活用を前提に、連携・つながりを深めるために必要な環境

- ① 中部国際空港二本目滑走路の整備、**名古屋駅や中部国際空港と各地域の移動時間短縮**
- ② **各地域をつなぐ交通ネットワークの整備**
- ③ **交通ネットワークとデジタル技術革新を活用した物流の機能強化・スピード化**
- ④ 各地域をつなぐ5G・Beyond5G等の大容量高速通信網の整備、データ・通信網の安全・信頼性確保
- ⑤ 研究機関や大学等の教育機関の高度化、ネットワーク化
- ⑥ NAGOYAをゲートウェイとした広域観光地域づくり

リニアの活用を大前提に、中部圏内のみならず、海外を含めた圏域内外との連携・つながりを強化

南海トラフ地震が発生し、我が国をけん引するものづくり地域である中部圏の経済活動が長期停止すれば、国内・世界経済への影響が大きいことから、被害低減、早期機能回復のために、企業のBCPとともに社会インフラ整備の事前の備えをしておくことが必要。

○道路(通勤などの移動手段や域内外の物流を支えるインフラ)

- ・緊急輸送道路の内、「地方管理道路」は、耐震化の進捗状況と完了時期を明確にし、計画的に整備を進めることが必要。
- ・「くしの歯ルート」も段差が生じる可能性のある橋梁が多数存在しており、一刻も早く整備を進めることが必要。
- ・企業が事業継続計画を策定するにあたり、地震発生後のインフラがどのような状態になるのか情報不足により想定しきれない現状があるため、行政は、情報公開を拡大することが必要。
- ・経済活動の継続や速やかな復旧を実現するには、緊急輸送道路のみならず、それ以外の国道や県市道に至るまでが、復旧しなくてはならない。そのためには、経済界のニーズを捉え、合意形成を図った上で、県市道であっても国道と同等の「耐震性能2」を満足する橋梁を計画的に増やしていくことが必要。

○工業用水(生産や発電に必要不可欠な産業の血液というべきインフラ)

○河川・海岸堤防(人命と産業を浸水から守るインフラ)

○港湾(資源や製造品の輸出入を支えるインフラ)

さらに、東海環状道や一宮西港道路、浜松三ヶ日・豊橋道路、東海北陸道4車線化などについて、災害時の命の道として整備が必要。

中部圏の課題と将来の方向性を踏まえた道路整備

リニア開業の効果を最大限に活用して中部圏の課題に対応するために、リニア開業の2027年を目標に基盤としての道路整備が必要。

○イノベーション拠点と生産の現場との速達性を高める交通ネットワークの整備

・西知多道路、名岐道路、一宮西港道路、名古屋三河道路、名古屋豊田道路など

○名古屋駅や中部国際空港と各地域の移動時間短縮

・名二環、東海環状道、西知多道路、名岐道路、名駅アクセス、一宮西港道路など

○各地域をつなぐ交通ネットワークの整備

・東海環状道、三遠南信道など

○交通ネットワークとデジタル技術革新を活用した物流の機能強化・スピード化

・新東名・新名神6車線化など

○災害時の命の道として整備

・東海環状道、一宮西港道路、浜松三ヶ日・豊橋道路、東海北陸道4車線化など

道路整備の必要性と効果

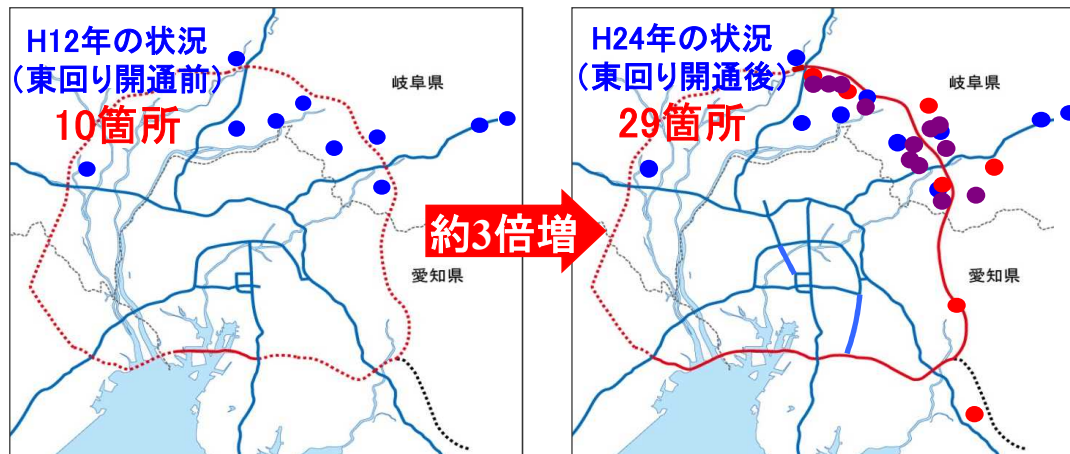
ネットワークビジョン
(2016.4公表)

「中部圏交通ネットワークビジョン」により、交通インフラの必要性を、ものづくり、リニア効果の広域への波及、観光活性化、魅力ある地域の創生、災害対応の観点から整理し、その将来像を提示。

○世界最強の「ものづくり」地域の実現に向けて

- ・効率的な物流ネットワークの構築
- ・新たな産業集積地の形成(資本ストック効果)

東海環状自動車道(東回り)開通後の沿線における工業団地の増加状況

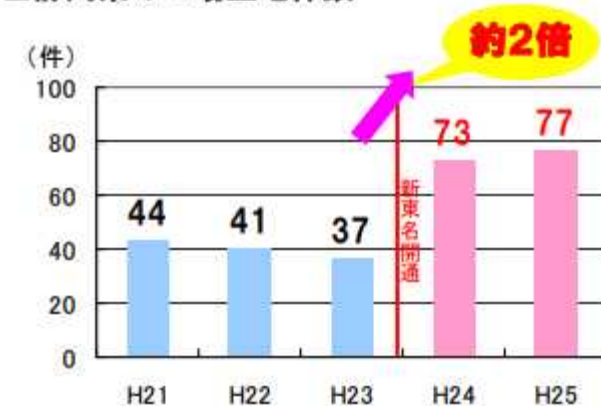


凡例 ● H12年までに完成した工業団地等
● 平成13年からH17年2月(東回り開通)までに完成した工業団地
● 平成17年3月以降に完成した工業団地

出典: 国土交通省中部地方整備局提供資料

新東名高速道路(御殿場～三ヶ日間)の開通効果

■静岡県の工場立地件数



出典: 新東名(静岡)インパクト調整会議発表資料

- ・新たな企業間取引や商圈の拡大

「中部圏の交通ネットワークのさらなる充実に向けて」により、物流をはじめとした、交通インフラに対するユーザーの意見を取りまとめ公表。

○東海環状道

・グループ会社のいなべ工場では、自動車を作っているが、その仕入れ先は260社位あり、そのうち1割位がいなべ工場の近くにある。北勢地域には仕入れ先含め集積が進んでいる。(輸送用機器)

○名二環

・当社では、鍋田ふ頭やこの飛島ふ頭付近から、年間550万台分の海外生産のための部品を出している。例えば、名濃バイパスのある大口町にも部品工場があり、小牧インターから名古屋高速、名2環を通過してこちらに来ることになるほか、さらに西三河から飛島ふ頭まで、日当たり200便程度のコンテナ輸送をしている。(輸送用機器)

○名古屋駅アクセス、名古屋高速

・現在、当社では、桑名市及び四日市市の団地群等から東名阪・名古屋高速(白川IC)経由で名鉄バスセンターまで約300便の高速バスを運行している(6,000人/日)。今後、新洲崎JCTのランプ、黄金ランプが新設されるとの事であるが、安全性や所要時間短縮による利便性確保のためにも、黄金出入口からの椿町線と笹島線の整備を早急をお願いしたい。(旅客運輸)

料金制度について

「①利用度合いに応じた公平な料金体系」「②管理主体を超えたシンプルでシームレスな料金体系」を目指す新たな高速道路料金制度の導入に賛成。

現状は、管理主体や、均一料金区間と対距離制区間が混在しており、例えば均一料金区間に並行する一般道路が渋滞するなど高速道路が有効活用されておらず、この解消は必要。

管理主体



対距離制区間の料率

路線名	料率
東名、名神等	24.6円/km
東海環状	34.0円/km
伊勢湾岸	39.4円/km

尾張北部主要渋滞箇所図（一般道）



均一料金区間に並行する一般道路の渋滞区間

料金水準と制度設計について

- ・中部圏は引き続き「ものづくり」で我が国をけん引していくと、中部圏広域地方計画で方向性が示されており、「新たな料金水準」の検討にあたっては、中部圏の経済活動に好影響となるようご配慮頂きたい。
- ・なお、高速道路料金は、国際的にみて依然として割高であり、さらに旧目的税(道路特定財源)を含めて自動車ユーザーは過重な負担をしていることも前提として頂きたい。
- ・制度設計にあたっては、産業界や物流、観光、個人利用など、幅広い用途のユーザーの意見を聞いたうえで、関係する皆さんが納得できるものとするとともに、高速道路の管理・運営主体における現状の経営状況を十分に考慮頂きたい。

➡引続きの推進をお願いしたい

「経済財政運営と改革の基本方針2018:骨太の方針2018」(2018年6月15日閣議決定)

- 災害時の避難道路を含めた道路などのネットワークの代替性の確保(中略)などの災害対策に取り組む
- 社会資本整備の分野についても、受益者負担に基づく財源対策についても検討を行う

「未来投資戦略2018」(2018年6月15日閣議決定)

- 我が国の国際競争力を強化し、経済成長を促進するため、高規格幹線道路(中略)等の早期整備・活用を通じた産業インフラの機能強化を図る
- 道路ネットワークのストック効果を最大限に発揮させ、迅速かつ円滑な物流の実現、交通渋滞の緩和を図るため、(中略)三大都市圏環状道路等について整備を推進する
- 高速道路でのダブル連結トラック、トラック隊列走行の実現も見据え、新東名、新名神高速道路の6車線化など既存ストックを活用した機能強化により、三大都市圏をつなぐダブルネットワークの安定性・効率性を更に向上させる

抜粋